

第3次島田市健康増進計画 施策評価シート

資料2

計画の基本方針		具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R1 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値
1.生活習慣病の発症予防・重症化予防	1-(1) がん	受診しやすいがん検診の実施	全国健康保険協会（協会けんぽ）の特定健康診査と検診日を合わせたり、土日曜日の検診日を設定する。	健康づくり課	がん検診事業	協会けんぽの特定健診と市の総合がん検診の同日実施	同日開催日数:66日 受診者数:8,366人	同日開催日数:69日 受診者数:8,760人
				健康づくり課	がん検診事業	土日曜日の総合がん検診の実施	開催回数:12日 受診者数:1,689人	開催回数:13日 受診者数:1,560人
		がんに関する知識の普及啓発	早期発見や重症化予防に向け、がんの知識の普及を目的とした講座を実施し、意識啓発を図る。精密検診の受診啓発を図る。	健康づくり課	健康教育事業 がん検診事業	がん検診啓発キャンペーンの実施	なし	開催回数:1回 新規がん検診希望登録者数:50人
		精密検診受診の啓発	精密検診受診可能医療機関一覧の周知、精密検査の実施方法の解説など、受診後のフォロー体制を市と検診機関で構築する。	健康づくり課	がん検診受診勧奨事業	がん検診の結果を確認し、精密検査が必要とされた方へ受診勧奨の電話をする。	精密検査受診率 胃:76% 肺:90% 大腸:70% 子宮:100% 乳:60%	精密検査受診率 胃:90% 肺:96% 大腸:90% 子宮:90% 乳:90%
		がん検診受診状況などのデータ収集・分析	受診しやすい体制にするため、がん検診に関するデータの収集と分析を行う。	健康づくり課	がん検診事業	総合がん検診において予約が埋まりやすい会場、曜日等を検診委託機関に確認をし、検診実施日の調整を行う	開催回数:73日 (うち土日開催日:12日) 予約枠数:10,045人	開催回数:75日 (うち土日開催日:13日) 予約枠数:10,400人
		若い世代に向けたしまだ健幸マイレージ事業の啓発	若い世代の検（健）診受診率が低いたため、受診の際にボーナスポイントを付与するなどにより、健幸マイレージの周知と啓発を図る。	健康づくり課	健幸マイレージ推進事業	若い世代が集まるイベントに参加し、マイレージのPR及び母子健診時にマイレージのパンフレットを配布した。	年代別応募者数 20代:11人 30代:32人 40代:33人	年代別応募者数 20代:50人 30代:70人 40代:70人

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R1 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値
1-(2)(3) 循環器疾患・糖尿病	特定健康診査の実施	個別健診や集団健診をがん検診と同時に実施する。人間ドック費用の助成を行う。特定健診受診料を無料化する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定健康診査)(その他)	島田市医師会、榛原医師会、聖隷予防健診センターに委託して実施。R1年度から特定健診の自己負担を無料化した。	対象者数:17,302人 受診者数:6,820人 受診率:39.4%(R2.3末暫定値) ※H30年度法定報告数値:39.7%	特定健診受診率:60.0%
	特定保健指導(個別)の実施	指導を受けやすい時間や曜日に個別面談を実施する。必要に応じて訪問指導を行う。未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	健診の結果、積極的支援、動機付け支援に該当した対象者に対し、保健指導を実施。	対象者数:655人 初回面接実施数:609人 実施率:93.0%(R2.3末暫定値) ※H30年度法定報告数値:82.8%	特定保健指導実施率:88.5%
	保健指導(個別)の実施	特定保健指導対象者以外で、血压、血糖、脂質などの検査項目で生活習慣病の重症化リスクの高い対象者に、電話や個別面談、訪問指導を実施する。未治療者には受診勧奨を行う。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(ヘルスアップ事業)	検査結果が基準値から逸脱し、重症化するリスク(検査数値が要医療の判定)がある者に対し、電話や訪問等による保健指導、受診勧奨を行う。さらに特に重症化のリスクが高い者に対しては受診勧奨のフォローアップを行う。	保健指導実施者数:422人、うち特に重症化リスクの高い者:42人	継続
	生活習慣改善指導・健康教育(集団)の実施	特定保健指導対象者や糖尿病性腎症の方に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	特定保健指導対象者や糖尿病の方を対象に、集団で、運動・栄養・歯科の健康教育を内容とする健診結果向上セミナーを実施。	18回、延べ230人	継続

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R1 事業実績 (回数、人数等)	R5 目標値
1-(2)(3) 循環器疾患・糖尿病	特定健康診査の受診啓発	受診率の向上のため、医師会、薬剤師会、地区組織(保健委員、自治会等)、国保連や県、協会健保等と協力して特定健康診査PR活動を行う。	健康づくり課	保健委員協議会	診率の向上のため、保健委員等と協力して特定健康診査PR活動を行う。	実施	継続
	特定健康診査未受診者勧奨	国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨する。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(特定保健指導)	国保特定健康診査未受診者に対して電話やハガキで受診勧奨。未受診者を対象に日曜健(検)診を実施。	受診勧奨事業(委託): 5,000人、日曜健診(6/9実施): 311人	継続
	保健指導(個別)の実施(再掲)	生活保護受給者健康管理支援事業において、生活習慣病の発症・重症化予防の指導を実施する。	福祉課	生活保護被保護者健康管理支援事業	・特定健診の受診勧奨と食事指導、生活指導など	特定健診受診率18.1% 指導人数 42人	未定
1-(3) 循環器疾患・糖尿病	島田市の糖尿病性腎症重症化予防施策の推進	島田市糖尿病性腎症重症化予防推進委員会、糖尿病性腎症重症化予防セミナーを開催する。糖尿病性腎症の早期発見と保健指導、糖尿病性腎症重症化予防プログラム、糖尿病の治療戦略を考える会を実施する。CKD*病診連携体制*を構築する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(ヘルスアップ事業)	データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する。	島田市糖尿病性腎症重症化予防推進委員会: 1回、糖尿病性腎症重症化予防セミナー: 1クール3回 延べ参加者数 123人、糖尿病性腎症重症化予防プログラム参加者: 16人、CKD病診連携: 10人	糖尿病2~3期の人のうち、プログラム参加率 30%
	糖尿病の発症・重症化予防啓発	糖尿病発症・重症化予防啓発チラシを配布する。保健委員と協力して地区で健康教育を実施する。	国保年金課	国民健康保険 保健事業(ヘルスアップ事業)	島田市独自の糖尿病に関するチラシを作成し、結果説明会等で配布する。	約1200人(特定保健指導、尿中アルブミン検査実施者)	継続
1-(4) COPD	世界禁煙デーにあわせたキャンペーンの実施	世界禁煙デー、禁煙週間に、街頭広報やポスターの掲示などで禁煙やCOPDについての周知を行う。	健康づくり課	生活習慣病等対策事業	禁煙やCOPDについての周知を行う。	世界禁煙デーにあわせたアピタで街頭広報を実施。	ホームページや広報での啓発周知の継続。世界禁煙デーの活動実施。